
魔女の誕生

藍村 泰

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

魔女の誕生

【Nコード】

N9195K

【作者名】

藍村 泰

【あらすじ】

「あたしは、世界が滅びることを望みます」
哀しく美しい声が木霊する。

遠慮がちにあたしの肩に乗せられた手を、あらん限りの力で以てはね除けた。男は物言いたげな瞳で、あたしを覗き込んでくる。

「帰ろう」

「どこに？」

即座に問うた。男は眉尻を情けなくも下げ、項垂れた。返す言葉が見つからないらしい。

あたしは濁った眼で景色を眺めた。

切り立った崖から見る世界は、朝焼けに包まれて燃えている。何喰わぬ顔をした世界が憎い。あたしの“世界”を奪った世界が憎い。愛してた。

小さくて大きな世界^{くに}。

もう泣かないと決めたのに、零れるのは多量の水。

「もう、あたしたちの故郷はないのに……どこへ帰ろうっていうの！？」

金切り声で叫んだ。

男が小刻みに震える。血走った目で男を睨み付けた。

彼も泣いていた。声を出さずに泣いていた。

ハラハラ零れる声なき叫び。誰にも届くことはない叫び。

親も兄弟姉妹も友人も愛する人も殺されたあたしたちの悲鳴。朝を告げる割れ鐘の音は、温かな想い出の詰まった心を打ち砕く。

あたしは男から視線を剥がし、眼前に広がる世界を見据えた。世界があたしたちを異端者と決めたならば、世界ごと全て、葬つてやろう。

故郷——地下大国は今や水底に沈み、無音しかない。注ぎ込まれた神雨という名の悪魔^{みず}は、瞬時にして一国の命を奪った。

命からがら逃げ仰せたあたしたちを見る地上人の目は冷たく、ま

るで汚物を見る目のようだった。

「世界なんて滅ぼしてしまおう」

心奥より言葉を吐き出した。

男は何度も何度も頷いた。

守るべき世界は滅び、もう息を吹き返すこともない。今、瞳に映る世界はあたしたちの世界でなく、人間たちのために形成された世界。

気高きディッグアールヴ《黒い妖精》。全てに通ずる叡知を持つディッグアールヴは、無用な争いを好まない。でも――

……。

「あたしは、世界が滅びることを望みます」

この宣誓にも似た科白が、後に人々を畏怖させる魔女誕生の合図だったと知る者は、今や誰一人いない。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9195k/>

魔女の誕生

2010年10月15日20時23分発行